

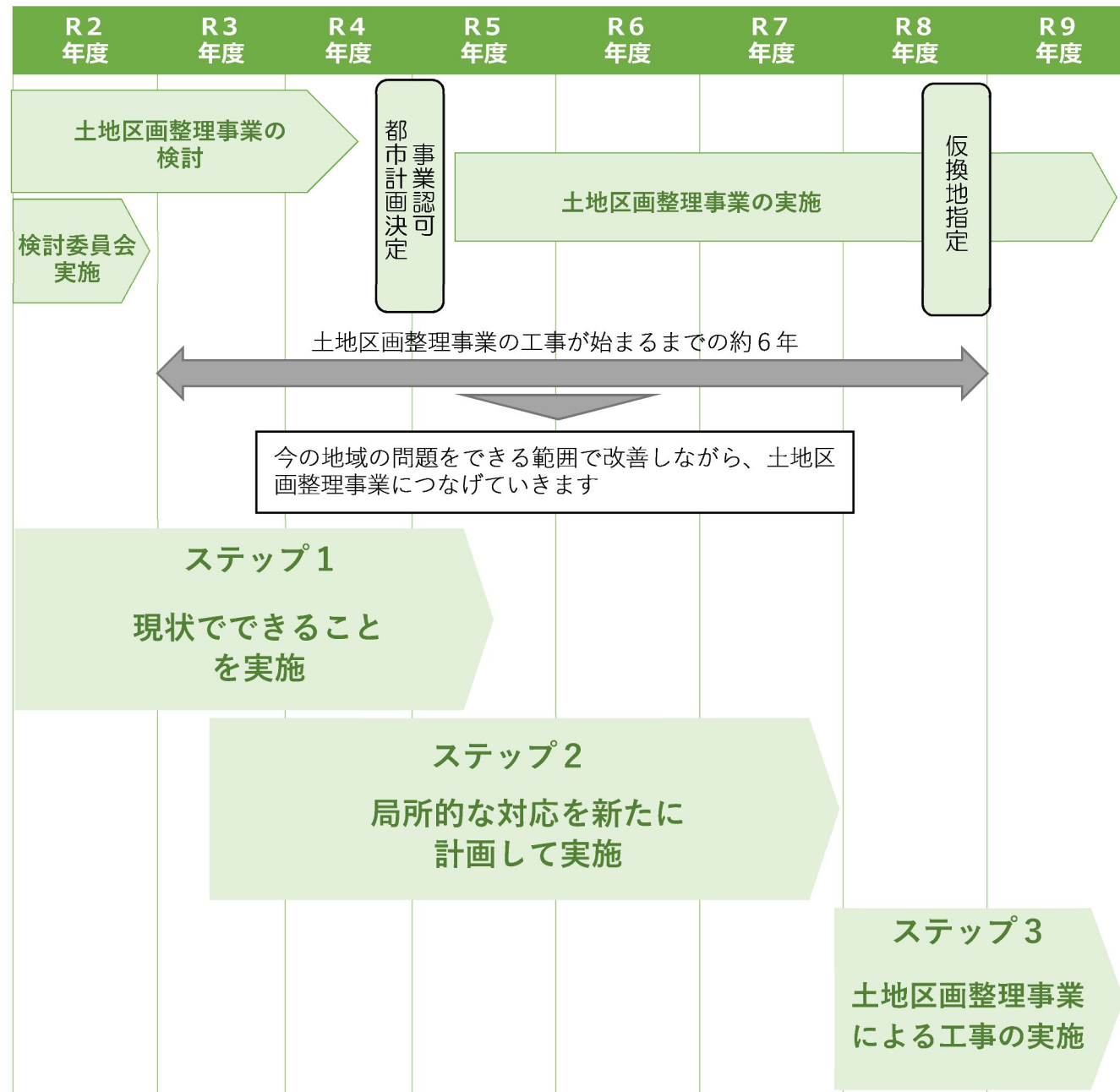
# 機能改善と段階的なまちづくりについて

## 1. JR穂積駅周辺の土地区画整理事業の流れ

駅周辺のハード整備は、令和4年度の都市計画決定（予定）以降、様々な調査・設計を行い事業化に向けて進んでいきます。土地区画整理事業によって今あるまちの問題を解決し、地域の皆さんが住みやすい環境づくりの実現に向けて長い時間をかけて取り組んでいきます。

土地区画整理事業の仮換地が指定されて、工事が始まるまで想定される約6年間は今地域が抱えている問題をできる範囲で改善していきます。土地区画整理事業の想定スケジュールとできる範囲で段階的にまちづくりを進めていくステップを以下の様に整理しました。

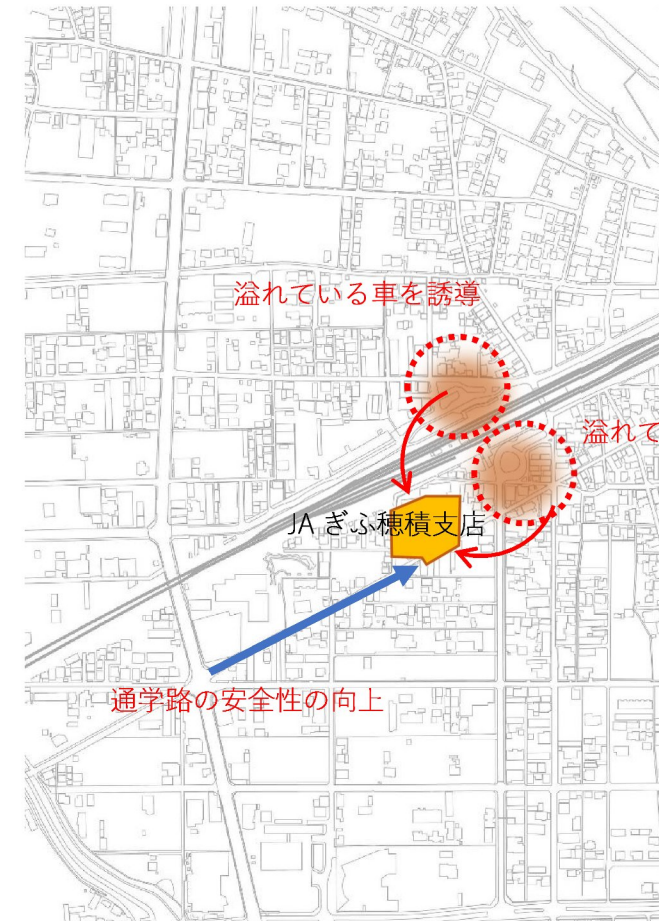
### ■土地区画整理事業の想定スケジュール（案）



※あくまで現段階で想定しているスケジュールです。今後、詳細な検討や関係機関協議で変更することがあります。

## 2. ステップごとの取り組みについて

### ステップ1. 現状でできることを実施



#### JAぎふ穂積支店の跡地利用



駅前や周辺道路の一般車による混雑を解消するため、一時駐車場や乗降場を整備して、暫定利用を計画していきます。

#### 北口

##### 一部修繕を実施

駅前の花壇やロータリー等、現状の駅前機能を一部修繕し、問題を解決する取り組みを検討します。

#### 南口

##### JAぎふ穂積支店の跡地利用

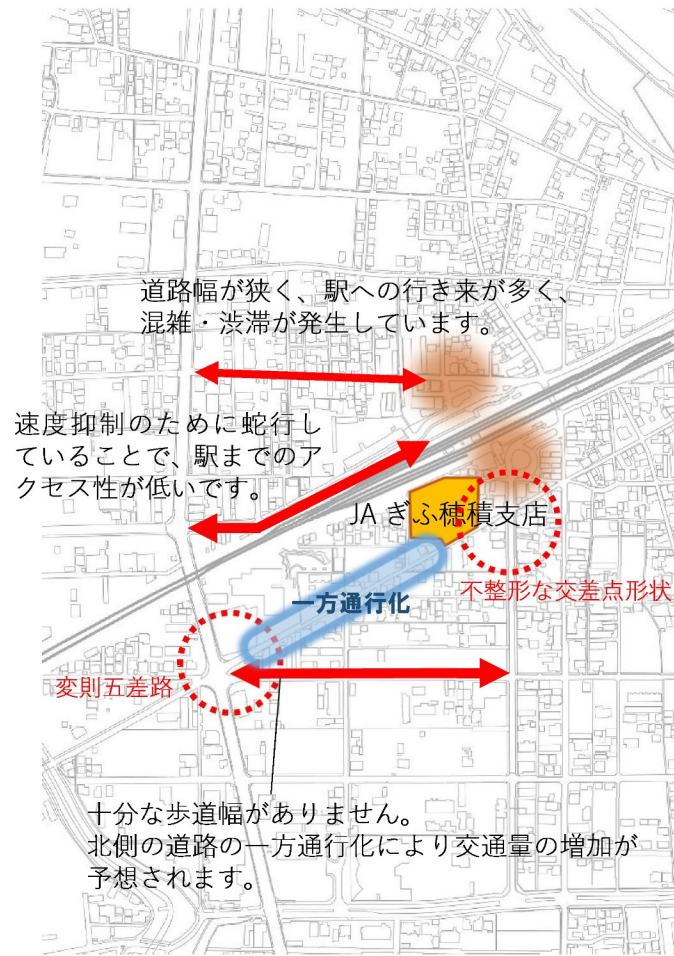
一般車の一時駐車場や乗降場などを整備し、駅前や周辺道路の混雑の緩和を目指します。

#### 一方通行化の実施



北方多度線の別府交差点とJR穂積駅を繋ぐ市道の一方通行化実現に向けて検討を進めていきます。朝の時間帯限定の一方通行化として、令和3年の秋ごろの実施を目指します。

ステップ2. 局所的な対応を新たに計画して実施



北口 土地区画整理の計画を加速

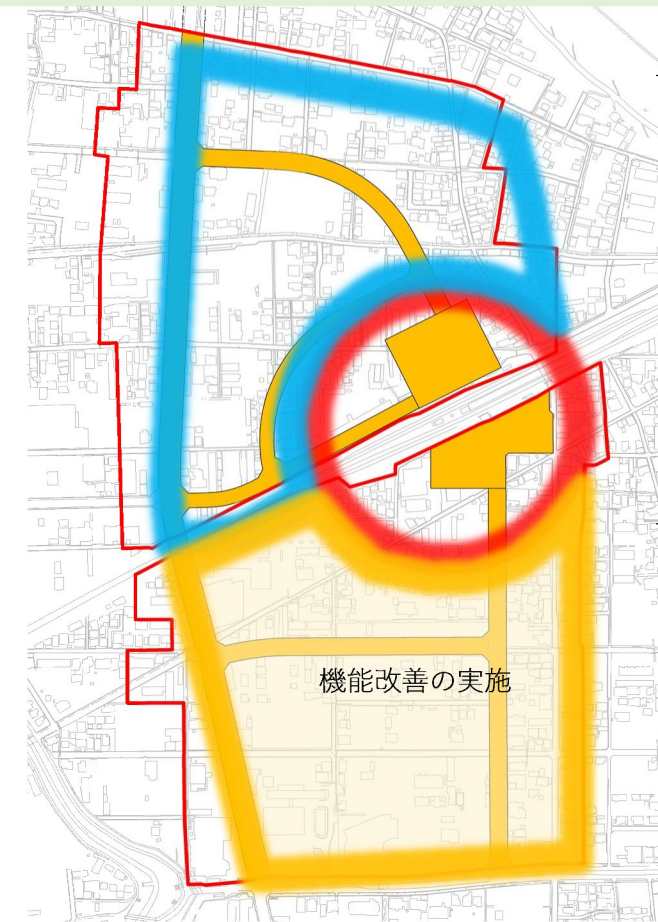
駅周辺に及ぶ交通渋滞等、駅北地域の抱える問題の解決のために、道路形状の変更といった抜本的な都市構造の改善を土地区画整理によって実施する計画を加速化させます。



南口 局所的な機能改善の実施

すぐにできる機能改善が有効に効果を発揮し、連鎖的に駅周辺の問題が解決されるような新たな対応策を考えます。

ステップ3. 土地区画整理事業による工事の実施



● **駅北地域及び南北の駅前広場**  
土地区画整理事業などの面整備によって、問題を解決していきます。

● **駅南地域**  
局所的な機能改善によって、問題を解決していきます。

3. 今後のスケジュール (案)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
土地区画整理事業	土地区画整理事業の検討 検討委員会		都市事業 決定計画 認可	土地区画整理事業の実施				
機能改善	JA跡地 事業化検討 ⇒ 調査設計・工事							
	通行化 関係機関協議等							
	局所的な 対応の実施 実施場所の設定・事業化検討 ⇒ 調査設計・工事							
まちづくりのステップ	ステップ1			ステップ2			ステップ3	

※あくまで現段階のイメージです。今後、詳細な検討や関係機関協議で変更することがあります。

別府交差点の改良を検討



別府交差点は変則五差路になっており、交差点形状が不整形です。これにより、駅の目の前に出られる狭い市道に多くの車が流入し、安全性の低下に繋がっています。

安全性を向上させ、一方通行化もより効果を発揮できるように、交差点改良を検討します。

水路を暗渠化し、道路拡幅を検討



北方多度線と穂積停車場線を繋ぐ市道 4-1009号線(郵便局前の通り)は、現状道路幅員が7m程度です。水路を暗渠化し、道路を拡幅することで歩行者と自動車の交通機能を十分に高めることが可能と考えられます。